

宮城県林業普及活動情報

2021. 11月号 No. 162

もくじ

各地の林業普及活動情報	P 2 ~ 1 0
○「竹林資源の有効活用意見交換会」の開催	(大河原地方振興事務所)
○仙南地域の森林づくり活動団体等研修会の開催	(大河原地方振興事務所)
○みんなの森林づくりプロジェクト推進事業への活動支援	(大河原地方振興事務所)
○原木しいたけ出荷制限解除に向けた支援	(大河原地方振興事務所)
○職業人に話を聴く会開催支援	(大河原地方振興事務所)
○宮城仙南山の幸販売会	(大河原地方振興事務所)
○森林経営管理制度に係る大河原圏域推進会議の開催	(大河原地方振興事務所)
○森林経営管理制度仙台圏域推進会議を開催	(仙台地方振興事務所)
○大和町原木しいたけ生産推進協議会と原木しいたけPRイベントを開催	(仙台地方振興事務所)
○大崎ウッドチェンジ2021・FSC認証勉強会の開催	(北部地方振興事務所)
○加美町広葉樹利用採材検討会	(北部地方振興事務所)
○森林経営計画現地指導	(北部地方振興事務所)
○「シビックプライド醸成セミナー」との連携	(北部地方振興事務所 栗原地域事務所)
○「知らなかった！正しい林業振興関係行政事務のすすめ方」研修の実施	(北部地方振興事務所 栗原地域事務所)
○「みんなの森林づくりプロジェクト推進事業」現地調査	(東部地方振興事務所)
○強み・弱み・機会・脅威の再確認	(東部地方振興事務所 登米地域事務所)
○大工さんが教える地元産材のDIY教室	(気仙沼地方振興事務所)
○みやぎ森林・林業未来創造カレッジ研修森林ビジネスコース	(育林ビジネス講座)
の開催	(林業技術総合センター)
○みやぎ森林・林業未来創造カレッジ開校キックオフイベントの開催	(林業技術総合センター)
○チェーンソーを用いた伐木等業務に係る安全衛生特別教育の実施②	(林業技術総合センター)

「竹林資源の有効活用意見交換会」の開催

大河原地方振興事務所

【28日(日)】

幼竹を使用したメンマの試作品が完成したことから、来春の商品化に向け、竹林整備等の地域の仕組み作りを検討するため、外部講師をファシリテーターとして招き「竹林資源の有効活用意見交換会」を開催し、関係者による意見交換を実施しました。

竹材の有効活用や人材確保等について課題があることから、今後は、地域外の人も巻き込んだ取組についても検討していく必要があります。引き続き、当所農業振興部等関係機関と連携しながら、竹資源の有効利用及び竹林整備に向けた支援を行います。



【意見交換会の様子】

仙南地域の森林づくり活動団体等研修会の開催

大河原地方振興事務所

【1日(月),4日(木)】

宮城県多樹種苗木生産協同組合にご協力いただき、仙南地域で森林づくりに取り組む団体を対象とした、広葉樹コンテナ苗生産技術研修及び意見交換会を開催しました。

研修会では、コンテナ苗生産現場の視察をした後、参加者が持ち寄った広葉樹の種でコンテナ苗の生産（培土づくり、コンテナ直播き、覆土等）を行いました。「山に植えられる苗木がこうやって育てられているとは思わなかった。」など、様々な意見が聞かれたほか、それぞれの団体が抱えている課題について、様々な意見交換が活発に行われ、これからの活動が楽しみです。

今後も、地域の森林づくりに関わる団体の人材育成や活動を支援していきます。



【研修会の様子】

みんなの森林づくりプロジェクト推進事業への活動支援

大河原地方振興事務所

【10日(水), 11日(木), 24日(水), 25日(木)】

今年度管内で7団体の「みんなの森林づくりプロジェクト推進事業」の活動が実施されており、今回4団体に対し作業の進捗を確認するとともに、今後の手続きについて助言を行い、作業が安全に実施されるよう周知徹底を促した結果、計画的かつ安全な作業の実施について理解が得られました。



【竹林状況確認及び指導・助言の様子】

原木しいたけ出荷制限解除に向けた支援

大河原地方振興事務所

【2日(火), 10日(水)】

出荷制限解除を希望する原木しいたけ生産者2名に対し、解除に向けた栽培工程管理について説明するとともに、現在の取組状況や、解除に向けた課題について意見交換を行いながら、今後の進め方について、指導・助言を行いました。

引き続き、関係機関と調整しながら、出荷制限解除に向けた支援を続けていきます。



【ホダ場の状況確認及び指導の様子】

職業人に話を聴く会開催支援

大河原地方振興事務所

【17日(水)】

大河原中学校の1年生の生徒を対象として、「職業人に話を聴く会」が開催され、白石蔵王森林組合職員が、森林の働きや林業の仕事について講義を行ったあと、現場で使う道具の説明や、チェーンソー等で丸太を伐る実演などを行いました。

生徒からは、「未来の森を守っていくために大切だ」「見えないところで日本を支えているすごい」など、林業という仕事の大切さについて知ってもらえる良い機会となりました。

今後も管内の中学校等でのキャリア教育において、林業が取り上げられるよう働きかけるとともに、同校への継続した支援を行っていきます。



【講義の様子】

宮城仙南山の幸販売会

大河原地方振興事務所

【18日(木), 19日(金)】

宮城仙南のきのこをはじめとする山の幸を広く消費者にPRするため、大河原合同庁舎1階ロビーにおいて、販売会を開催しました。

当日は、管内の山の幸生産者7団体が参加し、きのこ、ぎんなん、たけのこ、メープルシロップ、にゃんこけし、炭の置物などを販売したところ、多くの方にご購入いただき、山の幸の魅力を一般消費者に紹介することができました。

今後も、仙南の山の幸の販路拡大に向け、生産者を支援していきます。



【販売会の様子】

森林経営管理制度に係る大河原圏域推進会議の開催

大河原地方振興事務所

【26日(日)】

森林経営管理制度や森林環境譲与税を活用した森林整備の推進に向けて、管内市町の担当課長を参集し、大河原圏域推進会議を開催しました。

事務所及びサポートセンターから県内外の取組状況について説明を行ったほか、管内各市町の取組状況や課題について情報共有を図りました。

また、各市町における森林経営管理制度実施方針の策定による取組の推進について意見交換を行い、その必要性について理解が得られたことから、今後の策定に向けて、支援を行っていきます。



【会議の様子】

森林経営管理制度仙台圏域推進会議を開催

仙台地方振興事務所

【19日(金)】

森林経営管理制度等の管内の取組を推進するため、管内市町村の担当課長等と森林組合を参集した、仙台圏域推進会議を開催しました。

会議では、各市町村の取組状況について情報共有を図るとともに、森林経営管理制度の実施方針について、他県や県内の市町村における策定事例をもとに説明を行い、実施方針の内容や必要性について理解を深め、各市町村で早期の策定を目指すこととなりました。



【市町村と森林組合による圏域推進会議】

また、森林環境譲与税については、市町村の裁量により幅広く森林整備に活用できることを認識してもらい、森林整備等への積極的な活用を促しました。

今後は実施方針の策定に向け各市町村を支援しながら、次年度の森林経営管理制度の取組や森林環境譲与税を活用した森林整備等の計画的な実施を推進していきます。

大和町原木しいたけ生産推進協議会と原木しいたけPRイベントを開催

仙台地方振興事務所

【28日(日)】

東日本大震災の原発事故による風評被害を払拭し、原木しいたけの消費拡大を図るため、大和町原木しいたけ生産推進協議会と連携し、新みやぎ農業協同組合の協力のもと、大和町のJAグリーンあさひにおいて原木しいたけのPRイベントを開催しました。

イベントでは、来場者による植菌体験会を行ったほか、生産者による原木しいたけの販売を行いました。植菌体験では来場者50組に原木しいたけの種駒打ちを体験してもらうとともに、植菌した原木と収穫間近のホダ木をプレゼントし、しいたけ栽培を自宅で楽しんでもらうことにしました。実際に消費者に栽培工程に触れてもらうことにより、原木しいたけ栽培についての理解を深めることができました。

今後も特用林産物の消費拡大を目指し、イベント等の取組を支援していきます。



【植菌を行う来場者と生産者】

大崎ウッドチェンジ2021・FSC認証勉強会の開催

北部地方振興事務所

【22日(月)】

県産材利用推進月間である11月に地域材の利用促進と森林認証取得の可能性を考える場として、宮城北部流域森林・林業活性化センター大崎支部主催の勉強会を開催しました。

南三陸町と登米市から講師の方々を招き、森林認証の制度概要とそれぞれの地域における認証のメリットとデメリット、組織運営に関する情報を大崎地域の森林・林業関係者間で共有することができました。今後、森林認証制度について更なる地域での検討を支援していきます。



【鳴子総合支所ホールでの勉強会の様子】

加美町広葉樹利用採材検討会

北部地方振興事務所

【11日(木)】

加美町有林の広葉樹材の有効活用を図るため、用材の販売先として秋田県の木材加工業者とのマッチング支援を行った結果、商談が成立したことから、町有林の伐採現場で用途毎の玉切・集材方法について、確認しました。

当日は、現場で実際に伐木・造材作業に従事している方も参加し、樹種別・用途別毎の玉切方法と規格の確認を行いました。その結果、フローリング材としての広葉樹の造材方法について情報を共有することができました。また、造材方法を共有することで、用材の利用率の向上も期待されます。引き続き、多様な森林資源の活用について支援していきます。



【広葉樹の採材検討の様子】

森林経営計画現地指導

北部地方振興事務所

【18日(木)】

属人の森林経営計画を作成し、計画的な森林整備に取り組んできた森林所有者から、次期計画の相談があったため、森林所有者と管理委託を行っている森林組合の職員と合同で現地調査を実施しました。

現地は急峻な地形で、過去に整備した作業道が崩れている等、制約が多い現場でしたが、次期計画期間の5年間に間伐等の整備が必要な箇所を抽出し、区域計画を策定することや、長期的な計画樹立の必要性があることを指導しました。引き続き森林所有者・森林組合と調整し経営計画策定へ向けて支援していきます。



【森林経営計画の現地打合せの様子】

「シビックプライド醸成セミナー」との連携

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【9日(火)】

管内観光業関係者や地域おこし協力隊員を対象に、栗原地域の資源や魅力を再認識してもらう「シビックプライド醸成セミナー」(当所地方振興部主催)を開催し、栗原地域ならではの体験メニューとして未利用森林資源である”苔”を用いた苔玉づくり講習を行いました。

栗原地域では苔の産地化を目指しており、



【参加者による苔玉づくりの様子】

苔の交流人口を増加させるためには、手軽に取り組める苔玉づくりは好適であり、今後の様々なシーンにおいて、セミナー参加者との苔に関する連携が期待されます。

「知らなかった！正しい林業振興関係行政事務のすすめ方」研修の実施

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【30日(火)】

林業関係行政事務の円滑化等を図るため、林業事業体の新入社職員等を対象に、各種補助事業の事務手続きや許認可手続き等に係る研修を行いました。

仕事の進め方や企業におけるコンプライアンスの重要性を確認した後、補助事業毎に事業要望から額の確定までの提出書類・添付書類の作成方法に加え、現地検査の項目や手法等について説明したほか、森林計画制度、保安林制度、自然公園法、違反行為の防止、会計実地検査に向けた書類の整備等について講義を行いました。

今回の受講者は、林業教室をはじめ林業関係の技術的な研修は積極的に受講しているものの、行政事務は不明点が多かったとのことで、各事業の推進と円滑な事務手続きの実施が期待されます。

なお、他の林業事業体等に対しても必要に応じ研修項目を選択しながら実施していきたいと考えています。



【事業毎に異なる手続き等を丁寧に解説】

「みんなの森林づくりプロジェクト推進事業」現地調査

東部地方振興事務所

【29日(月)】

森林の持つ多面的機能の発揮に向け、保全活動及び山村地域の活性化に資する取組を実施している活動団体に対して、中間指導を行いました。今回、指導を行った1団体は3名で活動を行っており、専業での活動でないことに加え要望している機械の納入が遅れていることから、活動の遅れが生じているため、現地確認を行い今後の進め方について指導を行いました。

予定している、広葉樹林整備については、全体区域の入口部のみの整備でもあることから、整備の効率化が図れるよう、次年度以降での整備を提案し理解が得られました。

今後も適正な整備及び進捗が図れるよう継続した指導を行って行きます。



【現地調査の状況】

強み・弱み・機会・脅威の再確認

東部地方振興事務所 登米地域事務所

【11日(木)】

(公財)みやぎ林業活性化基金が開催する研修に参加し、津山町森林組合の研修受講者とグループを組み、同組合の強み、弱み、機会、脅威といった要素を洗い出し、クロスSWOT分析を通して、今後取り組むべき課題の抽出と具体的な取組方法について整理し情報共有しました。

その結果、組合内部の職員と外部の県職員が考える内容が一致する部分と、乖離する部分があることを知ることができたほか、優先的に取り組むべき課題等について整理することができたため、普及指導を行う方向性について絞り込むことができました。



【グループワーク (クロスSWOT分析)】

大工さんが教える地元産材のDIY教室

気仙沼地方振興事務所

【3日(水)】

宮城北部流域森林・林業活性化センター気仙沼支部では、これまで森林資源の有効活用や地域材の普及PR等を目的に親子木工教室を開催してきましたが、今年度はコロナウイルスの影響もあり、事務局である南三陸森林組合が大人向けDIY教室として企画し、開催しました。

当初は、募集定員を30名に設定していましたが、マスコミ等を通じて広く周知を行ったところ、定員を遙かに上回る応募があり、当日は40名が参加する形での実施となりました。

参加者は、地元の大工さんの指導を受けながら、南三陸杉を使用した「イス」の製作に取り組み、木工の基本技術を学ぶとともに杉材の良さを実感し、目的とした地域材の有効活用、普及PRを達成することが出来ました。

当事務所では、引き続き宮城北部流域森林・林業活性化センター気仙沼支部と連携し、木材の普及推進に向けた取組を進めていきます。



【製作状況】

みやぎ森林・林業未来創造カレッジ研修森林ビジネスコース（育林ビジネス講座）の開催

林業技術総合センター

【15日(月), 16日(火), 29日(月), 30日(火)】

林業技術総合センター（大衡村）にて、みやぎ森林・林業未来創造カレッジ研修森林ビジネスコース（育林ビジネス講座）第3回～第6回を開催し、8名の受講生にご参加いただきました。県内先進事業者による経営概要、造林・保育（下刈、除間伐）事業の進め方に関する講義及び現地研修、森林経営計画制度及び森林整備関係補助事業の実務に関する講義を実施しました。今後も受講生との意見交換を実施し、ニーズに合った研修を展開していきます。



【現地研修】

みやぎ森林・林業未来創造カレッジ開校キックオフイベントの開催

林業技術総合センター

【12日(金), 13日(土)】

林業技術総合センター事務・研究棟及び研修棟の完成披露と合わせ、来春のみやぎ森林・林業未来創造カレッジ開校を宣言し、若い世代が魅力を感じる森林・林業の創造に向けて多くの方々が交流する場とするキックオフイベントを開催しました。1日目には、カレッジ開校キックオフセレモニー、東京大学白石則彦名誉教授による記念講演及び林業者とのトークライブを実施しました。2日目には、林業の安全とイノベーション交流会（チェーンソーマスター競技会、有限会社丸大県北農林による講演会、新技術実演・体験・情報交換）及び森林・林業とつながる・未来を広げる交流会（NPO活動入門、木育ワークショップ）を実施しました。今後は機構会員の連携・協働による取組を一層推進し、多様なニーズに応えるカレッジの展開に務めていきます。



【セレモニー、講演会】

チェーンソーを用いた伐木等業務に係る安全衛生特別教育の実施②

林業技術総合センター

【9日(火)】

県林務職員が、現場においてチェーンソー作業を実施する際に、労働基準法で事業者に求められる義務と同等の責務を確保するため、8名の受講者を得て、労働基準法に規定する標記特別教育の6時間分を実施しました。

カリキュラムは必要教程のうち、「伐木作業に関する知識」(3時間)の学科教育、「チェーンソーの操作」(2時間)及び「チェーンソーの点検及び整備」(1時間)の実技教育を実施しました。講義内容は、テキスト「チェーンソー作業の安全ナビ」のカリキュラムに対応した章に沿って説明した他、実習舎において操作・点検・整備実習を実施しました。

規定の教育を修了することで職員の安全意識を高めることができました。



【チェーンソーの基本操作の指導】